

北海道和光純薬 | アルテア技研 | コスモトレーディング | 正晃
パーキンエルマー共催

列島縦断 代理店共催 パーキンエルマー ウェビナー

事前
登録制

日時

2022年8月30日 火 13:00-17:30

申込締切 2022年8月25日 木 17:00

参加申込 URL

<https://info.perkinelmer.com/CollaborationWebinar>



参加形式

Microsoft Teams (ご使用経験のない方はご相談ください)

参加費

無料

4 代理店（北海道和光純薬 | アルテア技研 | コスモトレーディング | 正晃）とパーキンエルマーで、Web セミナーを共催いたします！

本ウェビナーでは早稲田大学・大河内先生と環境省・藤森先生をお迎えし、ご講演いただきます。

招待講演以外にも、分析テクニックのあれこれをわかりやすく解説いたします。

どなたでもご参加可能です。

お申し込みいただいたお客様に、当日参加用 URL をお送りいたします。

講演内容は裏面をご覧ください。

ご不明点は裏面のお問い合わせ先または各営業担当者までお気軽にお知らせください。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

参加特典

参加者全員にもれなく

ノベルティを進呈

(後日お渡し)

&

分析消耗品

定価 10 万円以上ご購入で

20% OFF ※



スケジュール

13:00-13:10	開会ご挨拶	
13:10-13:55	大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響評価 大河内 博 先生 早稲田大学理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科 教授	世界における大気中マイクロプラスチックの研究の現状、環境研究総合推進費で取り組んでいる研究概要、これまでに得られた成果について国内観測を中心に紹介し、今後の課題について整理します。 ※海外からの講演のため、当日の通信状況により、内容を変更させていただきますので、予めご了承ください。
13:55-14:10	リレー中継（各代理店からのレポート）	
14:10-14:35	顕微 FTIR による大気中マイクロプラスチックの同定からひも解く 異物の定性分析の考え方 新居田 恭弘	大気中マイクロプラスチックの共同研究で培われた、未知異物を素早く正確に同定する方法をご紹介します。ライブラリ/検索の使いこなし、物質同定の手順、混合物対応が重要です。最新の知見を元に異物分析の進め方をアップデートします。
14:35-14:40	クロストーク	
14:40-15:05	入力補償を使う理由はここ！ 入力補償 DSC と熱流束 DSC の違い 泉谷 英治	なぜ入力補償 DSC はサンプル、リファレンスが独立し、熱流束 DSC は一つのファーンズしかないのか。なぜ入力補償 DSC では誰でも同じ結果が得られるのか。熱エネルギーを直接測定する入力補償 DSC の特長と温度計測する熱流束 DSC の特徴の違いを詳説します。
15:05-15:15	ラボツアー（パーキンエルマー 本社ラボルームからのレポート）	
15:15-16:00	ICP-MS による極微量元素分析の実際 - 環境水試料を例として - 藤森 英治 先生 環境省 環境調査研修所 主任教官	ICP-MS を環境試料の極微量分析に適用する際は様々な留意点があります。汚染対策、試料の前処理、測定、データ解析等各プロセスにおける勘所について、下水処理水の流入する河川水の分析を例に、演者の経験に基づいて解説します。
16:00-16:05	クロストーク	
16:05-16:30	ヘリウムガスの枯渇対策： ヘリウムを使用しないスペクトル干渉除去による 精確な ICP-MS 分析 小林 恭子	現在、ヘリウム（He）ガスの供給が不安定になっており、入手が難しい状況です。ICP-MS の干渉除去にも He が使用されますが、代替法が必要な状況となっています。パーキンエルマーが提案する He を使用しない干渉除去法による精確な ICP-MS 分析について解説します。
16:30-16:35	クロストーク	
16:35-17:00	ICP-OES の理解を深めるあれこれ 古川 真	有機溶媒で測定したい、測定 RSD を極限まで改善したい、Cs を 1 ppb まで測定したい、濃度 1%（10,000 mg/L）まで直線検量線を作成したい、といった事例を通じ、ICP の本質を理解しレベルアップできる着眼点を“うんちく満載で”お話しします。
17:00-17:05	クロストーク	
17:05-17:20	新製品のご紹介	
17:20-17:30	閉会ご挨拶	